

学 習 日 誌

10月 24日 (金)	講 師	岩宮 正治 様
出席者数	66名	記 録 者
		8 年 7 班 田口 康博
講 座 名	郷土G講座 5「座間市の上下水道の施設の進展と概要」	
プログラム担当者	館、郷土G	
時 間・場 所	13:30 ～ 15:00 、 第1集会室 にて	

【学習内容】

豊かな湧水に恵まれた座間に住んで、大切な水を使用し、排水として流しています。

上下水道はどのような設備で運用されているのか、身近な話題の講座でした。



【1】 上水道について

*約 85%は、汲み上げした地下水を浄水して使用しているとのことです（県水約 15%）。

*市内の水源井戸や県営水道（県水）からいったん配水場へ集められ、そこから一般家庭等に配水されています。

1) 第一配水場（16090m³）、2) 第二配水場（10890m³）、相模が丘配水場（4510m³）

*家庭には配水管から給水管に分かれ、高いマンションなどは一旦貯水槽に貯め、ポンプで高架水槽に汲み上げて供給されます。

【2】 下水道について

*家庭や工場から排出された雨水や汚水を下水管で集め、下水処理場で浄化し、河川や海に放流するしくみです。概略は下記の通り

*STEP1：沈砂池：下水に含まれる大きなゴミや砂を取り除きます。

*STEP2：最初沈殿池：この池でゆっくり流れている間、小さなゴミが沈んでいく。

*STEP3：反応タンク：活性汚泥と呼ばれる微生物の混じった汚泥混ぜて、水槽下から空気を送って微生物に処理してもらう。

*STEP4： 最終沈殿池：静かに下水を流して綿状の塊となった汚れを沈める。

*STEP5： 消毒設備：塩素（次亜鉛素酸ナトリウム）を使用して処理水を消毒する

【感想】 恵まれたおいしい水の維持管理と下水設備の老朽化による陥没事故など今後、

水に関する問題が増加することが予想されます。少しでも大切に扱いたいものです。

※ 講座終了後、「ジャンル別会議5」